



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度
R I テーマ

ROTARY:MAIKING A DIFFERENCE

ロータリー:変化をもたらす

国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー (国籍・オーストラリア)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



理事 佐々木久宜
〃 梅津 圭二
〃 鳴海 淳郎
〃 村津 忠久

理事 平野 教康
〃 亀井 孝
〃 近藤 賢司

役員 会長 佐々木久宜
副会長 梅津 圭二
幹事 西馬 良和
会計 森園 伸也

例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテル別府パストラル 〒874-0036 別府市東荘園町1丁目4
TEL (0977) 23-4201 FAX 25-3610
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail:info@beppu4rc.jp

S A A 梶原 和朗
直前会長 梶原 和朗

VOL. 30 - 10
2017年9月12日

第1342回例会

会報委員長 森 宗明

◆点 鐘 12:30

◆R S 手に手つないで

◆唱 歌 砂山

会長の時間

会長 佐々木久宜

皆さんこんにちわ。

会長の時間です。

先週の土曜日、別府RC65周年の記念行事がありました。

参加された皆さんお疲れさまでした。

料理、記念行事、ゲストとてもよかったと思います。

わが別府中央RCも次年度30周年を迎えますが、他のクラブに引けを取らないようにというよりも、うちのクラブらしい周年行事を行いたいと思います。

皆さんのご協力よろしく申し上げます。

今日の卓話はこちらのクラブのチャーターメンバーの河村先生にお願いしております。

河村先生、卓話楽しみにしております、よろし

◆出席報告

委員長 衛藤 秀子

本日 の 出 席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	18 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	2 名
欠 席 数	出 席 率	78.26 %
	欠 席 率	
前々 回 の 訂 正	出 席 率	70 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	5 名
	修 正 出 席 率	75 %

連 続 - 回
通 算 750 回 100 %

・メイクアップ

事前 亀井 (別府RC創立65周年記念式典)

事後

欠席 堀、梶原(和)、高宮、中尾

理事会承認

出席免除 溝部、平野(英)

く申し上げます。

あと、出席の方もよろしく申し上げます。



—基本的教育と識字率向上月間—

1. 本日の卓話

「倫理で教わったこと」 河村 貴雄 会員

2. R I 第2720地区ガバナーエレクト高山泰四郎氏より、平野教康会員へ「2018-2019年度大分第三グループガバナー補佐」の委嘱状が届きました。本日、ご披露しお渡しいたします。

3. 9月6日(水)18:00～野口原グラウンドに於いて、ソフトボール大会の練習を行いました。参加者：佐々木久宜会長、近藤賢司、平野教康、亀井 孝、梶原茂樹、前田哲矢、梅津圭二 各会員

4. 9月9日(土)16:00～両築別邸に於いて「別府ロータリークラブ創立65周年記念式典・祝賀会」が開催されました。登録者：佐々木久宜会長、後藤隆、平野英壽、平野教康、亀井孝、鳴海淳郎、村津忠久、梅津圭二、梶原和朗、木村きぬゑ、前田哲矢、津末美代子、森宗明、土谷昌志 各会員

5. お祝い

会員誕生日 近藤賢司会員 (9月18日)
※記念品をお渡し致します。

配偶者誕生日 前田れい子さん (9月17日)
※記念品をお渡しいたします。

皆 勤 村津忠久会員(9月12日=31年)
梶原茂樹会員(9月6日=1年)
※バッジをお渡しいたします。
(一年皆勤用)



6. 例会変更のお知らせ

大分臨海RC 9月25日(月)の例会は、新会員歓迎例会の為、同日18:30～場所未定に変更

大分1985RC 9月25日(月)の例会は、クラブ内研修会の為、同日12:30～コンパルホールに変更します。

中津中央RC 9月26日(火)の例会は、大田ロータリークラブ歓迎夜間例会の為9月21日(木)18:30～グランプラザ中津ホテルに日時変更

日出RC 9月26日(火)の例会は、日出RC旗争奪少年野球大会の為9月24日(日)8:30～糸ヶ浜グラウンドに日時・場所変更

くにさきRC 9月27日(水)の例会は、職場訪問例会の為同日12:30～くにさき総合文化センターに場所変更

大分東RC 9月28日(木)の例会は、夜の例会の為、同日18:30～ザブリッジ時間・場所に変更

宇佐RC 9月28日(木)の例会は、観月例会の為、同日18:30～米沢観光園に時間・場所変更

別府東RC 9月28日(木)の例会は、炉辺談話例会の為、同日18:30～ホテルサンバリーアネックスに時間・場所変更

大分南RC 9月29日(金)の例会は、夜の親睦例会の為、同日18:30～場所未定に変更

7. 次週例会の予定(9月19日)

「別府溝部学園高等学校インターアクトクラブ活動報告」

8. 本日の回覧

①「第4回別府中央RC親睦ゴルフコンペ」出・欠席

②「ソフトボール大会練習試合(VS別府北)」出・欠席

③ ガバナー月信Vol.03

④ 自衛隊家族会より「おやばと」



9. 本日の配布

- ① ロータリーの友9月号
- ② 週報No,1339,1340,1341
- ③ 2017-2018年度別府中央RCの現況と活動計画

スマイルボックス 委員長 高宮 勝美

○村津会員

先週末・土曜日・9月9日、大分県民体育大会開会式が、石垣原の総合グラウンドでありました。

私共「別府市民合唱協会合唱団」は「陸上自衛隊音楽隊」と共に、式典音楽隊を務めました。晴天に感謝してスマイル。

○佐々木会長

河村先生、今日は卓話よろしくお願ひします。

○河村会員

今年の4月14日の例会に昨年度の卓話で来ました。今日は今年2回目です。出席免除にしては、まあまあ？

○森会員

河村先生から「おっ森さん来てるの」って言われた(涙)トホホ…

○大島会員

今日は河村先生の卓話をたのしみに来ました。

○西馬会員

先週末、弁護士登録10周年記念大会で初めて熱海に行って来ました。「10年ひと昔」と言いますが、全国にいる10年ぶりの同期に久しぶりに再会して楽しい時間を過ごして来ました。大熱海国際ゴルフ場で開催されたゴルフコンペにも参加しましたが、全国のレベルは高かったです。残念(笑)。また練習します。

○森園会員

お久しぶりです。スマイル！

○梅津会員

本日30周年実行委員会を開催させていただきました。みんなで頑張りましょう。河村先生、卓話楽しみにしています。

○近藤会員

祝誕生日ありがとうございます。

卓話

河村 貴雄

「倫理で教わったこと」

(社)倫理研究所(文部科学省所管)の指導員をさせて頂いていた時のことである。福島さんという50代半ばの小柄な女性が指導を受けにいらっしやう。

彼女は4才の時、事故で股関節脱臼し、それ以来、車椅子の生活

とのこと。26才の時に虎ノ門病院で手術を受け、リハビリ後、やっと歩けるようになったが、その時すでに右足と左足の長さが10センチ程違っていた。

「最近、28年前に手術した箇所がとても痛むんです。再手術も難しくつらい日々です。どんな心で過ごしたらいいのでしょうか？」

私が、「福島さんのご両親はどうなさっていますか？」と尋ねると、「ハイ、父は86才で、母は85才で、両親とも病床で息を引きとるまで私のことを案じながら亡くなってゆきました。」

そこで私は、彼女に、「福島さん『苦に親しむ』という言葉があります。人間は本当に苦しい時や痛い時、その苦しさから何とか逃げようとする。しかし、逃げようとすればするだけ、ますます苦しく痛く感じるものです。そうではなく、よし！この苦しさ、この痛さと仲よくしよう、痛い時はこの痛さをじっくり味わってみようと思うことです。『この痛さ…がよい』と心を切り替えると人間の持つ自然治癒力も増すものです。」と。

その数日後、あの福島さんが、今度は元気に訪問して下さった。聞くところによると、墓参りをし、手を合わせて、生前両親が自分に与えてくれた数々の愛情を思い出していたら、止めどなく涙が流れたそうだ。そうだ、この股関節の痛みがいんだ。この痛みがあるからこそ両親のことを忘れないでいられる。不思議なことに痛みを心から受け入れた時、痛みが薄れていったという。そして彼女は私にこう言った。「歩けるってすばらしいことですね。私が働いて頂ける賃金は健常者の





6～7割ですが、自分の力で生活してゆくことができます。とてもとても幸せです！！」と。私は五体満足にもかかわらず、今まで力を出し惜しみしていた自分を心から恥じた。

世の中のこと（少なくとも自分の目に映り、耳に聞こえること）は、すべからく一つである。自分の心・我が肉体・自分に関わる物質・自分の周りの環境は、一つ一つがばらばらのようにみえて、実は全てが一つにつながっている。日常、私達の周辺にはいろいろな現象が起きてくる。自分にとって都合が良いことも悪いこともすべて必然であり、どんな現象も自分にとって信号であり、お知らせである。

むしろ、その人を成長させる為に起きてくる。

しかし、一般的には、不都合なこと（店の売上減少・部下の不祥事・客とのトラブル等）は避けたがるし、逃れようとする。自分にとって不都合なこともきちっと正対し、向かい合う。不都合なことも肯定し、積極的に受け入れてゆくとなぜそんなことになったのか、表面的（物理的）な原因ではなく、その奥の真の原因がわかってくる。事の本質がわかれば、打つべき手が自然に見えてくる。

何か不都合が生じた時は他人のせいではなく自分が反省し、心を切り替え、すべてを一旦受け入れ、事に対処すればよい。

すべて起きてくる事柄は自分自身の心・行いの反映（鏡）である。

受け入れる練習として「ハイ」の実践がある。

返事の「ハイ」には幾通りかの意味、あるいは語源があると言われている。

「ハイ、私はあなたの言うことを全面的に受け入れます」という意味と、さらにもう一つ素晴らしい捉え方、「ハイ、私はこの一点に厳然と存在をしております」という積極的な意味。

自分の存在感を表し、決して受動的ではなく能動的な意味である。ある標語に「返事は好意のバロメーター、打てば響くハイの一言」とある。名前を呼ばれたら間髪を入れず何も考えずに返事する。それが極意かも知れない。

ハイもピンからキリまでである。声の響き、声の艶、大小、高低。「ハイ」一つとて非常に奥が深い。

企業でも伸びている会社やお店では上司と部下との間で、同僚同志で、社員とお客様との間で「ハイ」の返事が飛び交っている。

さらに「ハイ」にはすべてを受けきるという意味がある。自分にとって都合が良いことも悪いこともすべてを喜んで受けきってゆく時、常識をはるかに越えた展開になってゆくことがある。

それは自分にとって起きてくる事柄をすべて肯定した結果でもある。「ハイ」の本当の威力はそのあたりにあるように思われる。

